# ●第2期2年度目の基本方針

第2期初年度の実績は、年間収支では、自主事業の集客不振により、全体で非常に厳しい収支結果となりました。鑑賞事業実施面で課題が明確となった部分は大いに反省し、今後の安定運営につなげます。

一方で初年度の新しい課題であった地域連携・地域課題への取り組みでは、新区民企画や子育て世代への企画等、地域の人々との連携による一定の結果を残せました。

2年目の事業計画は、反省と課題の克服を命題とし、もう一度初心に戻って、第2期の目標テーマを確実に実行し、新たな青葉区民文化センター・フィリアホールとして、「充実かつ安定した活動」を展開することが必要だと思います。

◎第2期のテーマを再確認し、今年度2年目の位置づけを設定していきます。

青葉区民文化センターは第2期のテーマとして、以下のようなものを掲げました。

『青葉区民文化センター・フィリアホールの第2期指定管理者としての基本』

**"フィリアホール"と"青葉区民文化センター"の二つの顔をめざして～地域を『繋げる』フィリアホール～**

1．二つの顔の青葉区民文化センター

「文化を発信し、発表の場を提供するフィリアホールの顔」と「地域と連携し、協働する青葉区民文化センターの顔」の「二つの顔」を理想の姿として、従来の実績を発展拡大し、現在区民文化センターに求められる役割を認識し、確実に成果を上げることを目指します。

「フィリアホール」の文化発信・鑑賞事業は、実績を継続・発展させ、「青葉区民文化センター」は、地域と協働して課題に向き合い「音楽」により、気軽に感動を与えること活動へチャレンジします。

二つの顔の活動は、各々の強みを生かして相互に協力連携し、区民文化センターの役割を認識し、文化の発信と地域コミュニティ形成を繋がり合わせて、総合的な活動を行うことにより「地域を繋げるフィリアホール」として地域における重要な拠点となることを目指します。

2．フィリアホールの文化事業活動

『二つの軸を中心とした文化事業のプログラム』

「コンサート・シリーズ」と「エデュケーション＆コミュニティ・プログラム」の二軸を中心としたプログラムを提供します。「コンサート・シリーズ」では定着した各シリーズを継承し、世界レベルの高品質な芸術を提供することで、地域の誇りとなる文化芸術発信拠点を目指します。

「エデュケーション＆コミュニティ・プログラム」は、アカデミー系企画や若手音楽家育成、体系的にまとめた幼児・ファミリー向けの企画や新しい区民企画など区民のニーズに沿った地域密着型企画を実施します。

コンサートシリーズ：クラシックコンサートを中心とした文化芸術鑑賞機会を幅広い層に提供します。

◎ 上質なコンサートシリーズ企画では、最高峰のアーティストによるコンサートを展開する一方で、気軽に音楽に親しむ企画により新規顧客の開拓促進にも努めます。定番のコンサートシリーズに加えて、特別企画として、新年や他館との連携、区や市との連携、周年記念などを企画します。共催公演も内容を吟味し、より良い企画の提供を目指します。

エデュケーション＆コミュニティー・プログラム：人材育成／地域型プロジェクトを体系的に実施します。

◎ 教育系プログラムを、対象層ごとに位置づけます。幼児と家族向け企画に加え、本格的なアカデミー系プロジェクト（マスタークラス企画等）と、コミュニティ形成にかかわる地域密着型企画に取り組みます。音楽を通じてコミュニティに参加できる、幅広い市民層を包摂する企画を意識し、コンサートシリーズとも積極的に連携を図ります

3．青葉区民文化センターの、地域コミュニティ・文化的コモンズ形成の牽引役としての活動

『キーワードは「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」』

地域の課題やニーズを把握しながら、そこに「音楽」を通して活動し貢献する企画を、地域の人々と共に築くこと、市民と協働することを目指します。

（1）地域と連帯し、地域課題に取り組む

全ての運営領域において、地域の課題に向き合い、地域コミュニティを支える施設を目指します。

（2）市民協働・活動支援・人材育成での基本方針

コンセプトやミッションを共有するネットワークづくりを目指し、繋がったネットワークを活かし各団体・他施設の特色を活かし更なる活動へ発展させていくサポートをしていきます。

◎第2期のテーマを再確認し、今年度2年目の位置づけを設定・・・1頁からの都筑

(2)市民協働・活動支援・人材育成での基本方針

◎ 地域ニーズの把握～事業を担う人財の育成

顔の見える地域連携を目指します。他施設にも情報提供を兼ね定期的訪問することで、地域課題やニーズに合った連携事業を提案しやすくしていきます。地域の人との「協働」を基本とし、「協働する人財」を育成する活動を進めます。

◎ 地域と連携・協働し、地域課題に取り組む「青葉区民文化センター」の活動

○地域コミュニティの形成への活動

地域の課題への取組地域の中に音楽を楽しめる場所作りをめざし、地域内施設やグループ団体とのネットワークが形成され、共に楽しめる企画を実施してまいります。

○ソーシャルインクルージョン:楽しむ企画と参加し協働する企画へ

区民提案型企画を公募します。上記のコミュニティープログラムでは、ファミリー層が親しめる企画を実施します。地域コミュニティー形成への取組を担っていきます。

◎ 地域の団体グループへの支援連携・文化事業を担う人々の育成

地域で活動する団体やグループに、情報提供、相談機能、人材育成補助などの活動を進めます。地域内団体の情報を青葉区民文化センターを介して、地域に発信していく方法を模索して行きます。

4. 基本的施設運営の考え方

「人財」「施設」「収支」「情報」の4つの柱を運営の軸とします。文化発信拠点として地域の絆をつなげる役割を果たすため、適切な施設運営に努めます。

## 平成31年度(2019年)の位置付け

第2期2年度目は、初年度の結果及び反省を踏まえて、主要事業の継承、・発展と共に、施設利用の促進・文化事業での集客を図り、「確実な収益」の確保安定化を命題としていきます。初年度スタートした様々な地域事業への取り組みを、2年目はさらに発展充実させ、今後の指針となる体制固めをしていきます。

●鑑賞型事業「コンサートシリーズ」は、ホール開館25周年でもあった初年度の厳しい集客結果の反省も踏まえ、公演数を20本程度、開催時期にも考慮して事業収支の安定化を目指します。今年度は青葉区区制25周年に当たり、公演に応じて区制記念の冠をつけた公演を展開します。販促広報策を駆使し、集客(チケット販売)を安定させ、お越しいただく方を増やしていく方策を展開します。もちろん業務基準にある公演数は確保しつつ、鑑賞型とエデュケーションの二軸で、魅力ある文化事業の展開を図ります。

●「エデュケーション&コミュニティ・プログラム」では、アカデミープログラムを増やし、「聴いて学ぶ」。定番の夏冬のファミリー向けコンサートに加えて、、幼児やママさん向けのプログラムを展開。コミュニティプログラムでは、若手音楽家の発表、育成の場としても活用し、また地域連携型の内容も織り込んでいきます。気軽に音楽に触れるプログラムとして、参加体験型や子育て支援などの課題取り組みの企画を展開します。

●地域コミュニティー形成事業では、初年度の実績を基礎にさらなる発展拡大のための活動両機の拡大を目指します。予想を超える区民の力を発揮した新区民企画を2年目も公募し、区民の力を借りて、実践型の地域連携を実施します。区民サポーターの活動の充実、地域人財との協働はより充実前進した体制を作ります。

●施設運営では、より多くの方々にご利用いただけるような様々な取り組みを模索します。ホールを含む空き室の広報(HPやロビー掲示)やリハーサル室・練習室平日夕夜間の利用促進を進めます。

●防災上の観点からも、ご利用人数の正確な把握を課題とし、ご利用者からの申告確認を徹底していきます。また利用申告用紙を利用して、日常的にご意見ご要望を収集するためのご意見欄を設けます。頂いたご意見への回答も掲示していきます。

●施設管理面では、日常的な保守管理を徹底するのはもちろん、経年劣化する部分の中期的な修繕計画を立案して行きます。年間費用を有効的に使用して、「安心安全快適」な施設環境を維持していくようにします。電気料金の上昇は、様々な経済状況によるものもありますが、LED化推進、水道設備の改善なども行いながら、日常的な「節電」「節水」に心がけていきます。

## 平成31年度(2019年度)事業計画

### Ⅰ. 平成31年度文化事業の活動

#### 1. 文化事業活動の基本方針

平成31年度(2019年度)は、培ってきたホール・ブランドイメージの維持発展と地域密着型企画を展開します。コンサートシリーズは初年度の収益不振の克服に向け、適切な販促、集客策を講じ、これまで以上に安定した事業運営を心がけます。. エデュケーション&コミュニティ分野では、「地域に開かれた区民文化センター」としての役割を意識し、企画のブラッシュアップを図ります。若手育成企画を充実させて実施します。地域と連携した幼児向けやファミリー向けの企画もさらなる充実を図ります。

#### 2. コンサート・シリーズ

フィリアホールが市内を代表する文化拠点との自覚を持ち、ブランドを維持し、区民ニーズに応えた地域が誇れるホールを目指します。高品質な文化芸術鑑賞機会を提供するコンサートシリーズでは、媒体を活用した広範囲への販促告知を実施し、加えてクラシック音楽へのハードルを高く感じている層を含めた幅広い顧客向けに、会報誌や地域での講座などを通してアプローチしていきたいと考えます。

○2019年度の主なシリーズの概要

《女神との出逢い》シリーズ
フィリアホールのメインシリーズ。作曲家を絞ったシリーズ企画も展開。今年度は昨年からのシリーズ企画後半となる河村尚子(P)のほか、仲道郁代(P)、三浦友理枝(P)は今年からシリーズを開始。常連の吉野直子(Hp)は世界を代表するフルート奏者パユとの共演。女神初出演は海外アーティスト1人を含む3組です。定評あるアーティストで集客を見込むほか期待の新人も迎えホールの新規顧客層の開拓も目指します。

《ただひとつの世界》シリーズは世界最高峰のアーティストを招聘し、ホールのブランドイメージを高める企画。今年は年間1本に絞り、ロシアの巨匠ミハイル・プレトニョフが出演。フィリアホールならではの最高峰の音楽をお届けします。

《ランチシリーズ》は平日の昼1時間で1,500円。気軽に上質な音楽に触れるコンサートとして、幅広い顧客へアプローチします。毎年6本を開催。今年度は、2公演のピアノに加えてピアノトリオ、ヴァイオリン、チェロの公演、さらに古楽器ヴィオラ・ダ・ガンバ&チェンバロという異色編成の公演を開催します。

《トーク&コンサートシリーズ「マイ・フィールド」》は、休日昼の90~120分コンサート。アーティスト自身によるトークと演奏を楽しむトーク&コンサートで、アーティストの人生観、音楽観を自らの言葉で話すことで聴くだけではない「人間としての」より深い体験をご紹介する企画。今年は、ギターの重鎮・荘村清志、「左手のピアニスト」舘野泉の2本です。

《特別企画》として、毎年恒例のニューイヤーコンサートでは日本を代表するピアニスト横山幸雄によるモーツァルトの協奏曲3曲全曲演奏をおおくりします。また青葉区制25周年にあたる本年は記念コンサートを3月に予定、青葉ブランド選定委員でもある地元ゆかりのアーティスト・千住真理子(Vn)を招いた特別企画です。

#### 3. エデュケーション&コミュニティ・プログラム

エデュケーションプログラムでは、小さいお子様と家族向けの企画、一流演奏者によるマスタークラス企画、そしてコミュニティ形成にかかわる地域密着型企画の3つの軸をベースにプログラムを実施します。コンサート・シリーズと連携を図り、音楽を通じてコミュニティに参加できる企画を考えます。

○2019年度の主なシリーズの概要

「ミュージックアカデミー・プログラム」は、音楽を学ぶ特に学生を対象としたマスタークラス&コンサート企画。若手音楽家の発表の機会、そして生涯学習的プログラムを提供します。定番となった指揮者・広上淳一氏による東京音大指揮科生徒との公開講座、チェリスト山崎伸子氏のプロデュース企画のほか、今年はアカデミー系を充実させ、渡辺玲子氏(Vn)・須川展也氏(Sax)のマスタークラス&コンサートも開催。地域の管・打楽器を学ぶ学生向けの「ウィンドアンサンブルクリニック」や「室内楽アカデミア」で若手発掘にも取り組みます。

「キッズ&ファミリー・プログラム」では、子どもの感性の育成に役立つ機会を提供する一方で、保護者層に子どもとの思い出になる時間を提供します。若手アーティストを積極的に起用し発表の場として活用します。夏と冬のファミリーコンサート、ホワイエでの「プチ・コンサート」、幼児向けの企画などを展開します。

「地域コミュニティ・プログラム」では、昨年度から実施した区民提案型企画を今年度も公募します。区民自らが立案・実施する地域のニーズや課題を解決することを意識した地域密着型企画を実施します。地域事業の一環としてのプログラム展開を図りたいと思います。

地域の小中学生で結成された「フィリア・ジュニア合唱団」は、運営委員の活動も定着し、引き続き「区民によって企画運営する」活動として積極的にサポートします。各種のアウトリーチ活動も積極的に行っています。

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事業による小中学校へのアウトリーチ活動を引き続き継続します。加えて、地域諸施設へのアウトリーチ活動や提携企画も、昨年度以上に発展拡大していきます。

4. 国内・地域で活動する優れた音楽団体との共催事業の実施

国内外の優れたアーティストによるリサイタル、地域のーケストラ公演など年間20本程度実施します。従来のネットワークを生かし、ホール主催では実現が難しい幅広いジャンルの文化芸術を提供します。従来貸館で実施してきた優良公演も積極的にサポートします。

◎平成31年度の鑑賞型事業の基本ラインナップ

| コンサートシリーズ | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公演(シリーズ)名 | コンセプト | 開催日 | 実施想定月 | 年間収支(千円) | |
| 土曜ソワレ<br>《女神との出逢い》 | フィリアホールの基本シリーズ。ベテランから若手まで、「女性アーティスト」によるリサイタル | 土曜 夜<br>年8回 | 4・6・7・9月<br>10・11・12・2月 | 収入 | 14,643 |
| | | | | 支出 | 10,477 |
| JUST ONE WORLD<br>《ただ一つの世界》 | 厳選された世界一流アーティストによる高品質なコンサート | 平日夜<br>年1回 | 6月 | 収入 | 4,023 |
| | | | | 支出 | 4,396 |
| ウィークデーコンサート<br>《らん・らん・ランチにいい音楽》 | 休憩なし1時間1,500円。気軽に音楽に触れる機会の提供 | 平日昼<br>年6回 | 5・8・9月<br>10・11・3月 | 収入 | 3,342 |
| | | | | 支出 | 2,769 |
| 神奈川フィルの名手による室内楽<br>《名曲の午後》 | 地元神奈川フィルとの連携、客層の拡大にも貢献。共催でも1公演 | 平日昼<br>年1回 | 7月 | 収入 | 1,[illegible]9 |
| | | | | 支出 | 765 |
| トーク&コンサート「マイ・フィールド」<br>《私の人生、私の音楽》 | 休日昼2時間のトーク&コンサート。アーティストが人生観、音楽観を語り、聴くだけではないより深い体験。 | 土日 昼<br>年2回 | 2・3月 | 収入 | 3,490 |
| | | | | 支出 | 2,044 |
| ニューイヤーコンサート | 新年を飾る華やかなソリストとN響のメンバーによる室内オーケストラとの饗宴 | 土曜 昼<br>新年 | 1月 | 収入 | 3,285 |
| | | | | 支出 | 2,958 |
| 特別企画 | 青葉区制25周年企画 | 土日 昼<br>年1回 | 3月 | 収入 | 2,156 |
| | | | | 支出 | 1,148 |

| エデュケーション&コミュニティ・プログラム | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 公演(シリーズ)名 | コンセプト | 開催日 | 実施想定月 | 年間収支(千円) | |
| ミュージックアカデミー・プログラム | 音楽を学ぶ学生対象としたマスタークラス・若手音楽家にステージ提供 | 平日・土日昼<br>年3～5回 | 7・9月<br>11・3月 | 収入 | 4,862 |
| | | | | 支出 | 5,042 |
| キッズ&ファミリー・プログラム | 幼児.ファミリー、高齢者等を対象とした体験イベント | 平日・土日<br>年6～8回 | 6・7・8月<br>9・12月 | 収入 | 2,5[illegible] |
| | | | | 支出 | 3,070 |
| フィリア・ジュニア合唱団 | 区民運営委員と講師陣が合唱指導・コンサート企画までを実施。 | 練習随時<br>年1回公演 | 練習随時<br>3月 | 収入 | 460 |
| | | | | 支出 | 678 |
| 地域コミュニティ・プログラム | 区民が企画から運営までを実施。地域課題に取り組む区民企画 | 土日 昼<br>年2回 | 公募による | 収入 | 30 |
| | | | | 支出 | 150 |
| アウトリーチ・プログラム | 学校や・福祉施設等へアーティストを派遣、STスポット事業協力 | 平日<br>年5回～ | 学校等と協議 | 収入 | 183 |
| | | | | 支出 | 210 |

| フィリアホール共催公演 | | | |
|---|---|---|---|
| 公演(シリーズ)名 | コンセプト | 開催日 | 想定公演 |
| フィリアホール共催公演<br>・神奈川フィル<br>・音楽事務所主催<br>・(協力)各音楽コンクール | ホールイメージ向上に貢献できる厳選された質の高い公演<br>貸館公演同様に施設利用料等は主催者負担。ホール優先確保、メンバーズDMやポスター掲載で広報宣伝・販売をホール側がサポート。 | 平日昼<br>日祝昼<br>年10～15 | 年間15～20本 |

## Ⅱ.平成31年度 地域コミュニティの形成・社会的包摂推進への活動

### 1. 地域コミュニティ形成への基本方針

第2期の重要なテーマである「青葉区民文化センターの顔」の活動は、初年度その端緒としての活動をしました。そこで得た経験、課題、ネットワークと地域の人財を活用し、今年度はより充実発展した活動を目指します。そして、第1期の全体につながる基盤づくり、基礎固めをする年度にするようにしていきます。
「音楽芸術」というアイテムを使いながら、「ふれあう」「支える」「活動する」「集う」場をより多く提供することを目標に掲げ、「地域連携」を明確な柱として、まさに区民と協働した運営活動を目指していきます。

具体的には、文化事業と連動したエデュケーション＆コミュニティプログラム、今年度も実施の区民企画、さらに、若手音楽家や地域人財の育成、そして地域の様々な施設や団体との連携共同企画などを実施します。

### 2. 地域活動で目指す課題の設定

地域活動をするにあたっては、地域の様々な課題へのアプローチを掲げました。
具体的には以下のような各項目を設定し、各事業ごとにその活動がどの課題にアプローチするものかを考えながら、活動内容を設定していきます。

| | | |
|---|---|---|
| ★子育て世代へのアプローチ | ★青少年へのアプローチ | ★シニア世代へのアプローチ |
| ★社会的包摂を考えた人達へのアプローチ | ★市民協働 | ★地域施設連携(ｺﾐｭﾆﾃｨ) |

地域コミュニティ形成・地域コモンズ形成に大切な課題ばかりです。こうした課題やテーマに沿って、様々な活動を転記していきます。

### 3. 文化事業とも連動する活動

●エデュケーション＆コミュニティ・ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑとの関連事業

文化事業の2軸の一つ、エデュケーション＆コミュニティでは、鑑賞型事業や教育型事業に加えて、地域とのつながりを考えるプログラムという「コミュニティ」プログラムを提供します。このプログラム展開は、まさに「二つの顔」がともに互いの力を発揮し、連携しあう事業活動だといえます。

平成31年(2019年)の主要な企画

| 企画・対象 | 目的・概要 | 時期等 | 課題(ﾃｰﾏ) | |
|---|---|---|---|---|
| オープンデー<br>ファミリー<br>地域の人たち | ホールを全館使用して、色々な音楽を楽しめるイベント。子どもから大人まで、障がいのある方など、地域の方にフィリアホールを知っていただきたい場。様々な「音楽」を通して、ファミリーで、1日を楽しんでもらう | 8月 | 「子育」<br>「シニア」<br>「包括」 | 「青少年」<br>「コミュ」<br>「協働」 |
| ファミリーコンサート<br>ファミリー<br>地域の人たち | 夏とクリスマスに、ファミリー向けのコンサートを実施。「託児所」を開設し、子育て世代も楽しめる時間を提供する。障がいのある方にも積極的に参加できる機会にしたい | | 「子育」<br>「シニア」<br>「包括」 | 「青少年」<br>「コミュ」<br>「協働」 |
| プチコンサート<br>0歳、1歳～3歳向け<br>お母さん | 乳幼児とお母さんが楽しめる企画。お母さんに「ひと時の癒し」を届けたい企画。対象年齢ごとに内容を変化させ、より楽しめる企画にしたい。また、ホールだけではなく、リハーサル室でのミニコンサートを託児所付きで企画。ママたち支 | 4・9月 | 「子育」<br>「包括」 | 「コミュ」<br>「協働」 |
| ワークショップ企画<br>地域の人たち | 手作り楽器体験や父親向けワークショップなど、対象や内容を考え、「気軽に音楽に触れあう」趣旨を大切にした企画にし、地域の施設との連携も模索したい。 | | 「子育」<br>「包括」 | 「コミュ」<br>「協働」 |
| ジュニア合唱団<br>青葉区の子ども達<br>地域の人たち | 合唱を通して歌の楽しさを学び、年齢を超えたコミュニケーションを身に付け、一方で様々な課題をもった子ども達の居場所として機能させます。講師・運営委員はボランティアで、市民協働事業として推進。 | 通年練習<br>3月 | 「青少年」<br>「協働」 | 「包括」 |

●市民協働型事業の推進

地域コミュニティ形成の中心となる、「市民協働」型の事業です。初年度スタートした、様々な事業では、区民の力を結集した企画が実施されました。その過程にあって、色々なネットワークが形成され、更なる連携へのスタートができています。今年度はそこからのへってんを目指していきます。

平成３１年(2019年)の主要な企画

| | | | |
|---|---|---|---|
| 区民企画公募・選定・協力実施 | 初年度同様、地域課題と音楽を軸とした区民による事業企画を募集。その内容を吟味し選定し、実施に当たっては、全面的に活動支援・サポートを行います。 | 3月～4<br>年2本予定 | 「協働」 |
| チャリティーコンサート<br>（例）あおばカノンコンサート | 区民有志やケアプラザと連携しコンサートイベントを通して、地域の団体・人・施設を繋ぐ企画。収益はチャリティーとして、災害などの被災地などに寄付を予定。 | 年１回程 | 「協働」 |

●地域連携・アウトリーチ活動

地域に音楽を届けたいという趣旨のもと、地域の様々な施設や団体と連携協力していきます。STスポットを通した学校訪問はもちろん、色々な場所に積極的に出向く活動を展開します。

平成３１年(2019年)の主要な企画

| | | | |
|---|---|---|---|
| STスポット アウトリーチ | STスポットと連携事業（学校対象）。学校と連携しプロのアーティストを呼んで、音楽の楽しさや素晴らしさを学んでもらう。学校からも好評で、子供の反応が楽しい事業 | 下期<br>学校連携 | 「協働」 |
| 地域施設 アウトリーチ | ホール以外の施設での演奏会企画。区内施設と連携し地域の方に音楽を気軽に楽しんでもらう | | 「協働」 |
| ケアプラザ連携 | 今年度からは、地域のケアプラザ施設と連携し、順次全施設にコンサートを提供できるような基盤を作る。社会福祉協議会や区役所とも連携して、内容を確立します。 | 適宜 | 「協働」 |
| 地区センター連携 | 地区センターやコミュニティハウス等と連携し、コンサートを開催していく。地域の音楽家や若手音楽家とも連携し、気軽に「上質な音楽」に触れる機会を提供したい | 適宜 | 「協働」 |

●市民協働・人財育成に向けた活動

地域での事業を展開するには、地域の人達との連携が充実していなければなりません。その地域の人財を育成していくことも青葉区民文化センターの重要な役割だと意識しています。

| | | |
|---|---|---|
| 区民サポートの募集・主催事業サポート | 区民サポーターを募集しホールの仕事をお手伝いしていただきます。接客・マナー研修も実施し、接客のノウハウを得ていただきます。 | 3月～4月<br>通年募集 |
| 区民企画で育成 | 区民企画を実施する人には、共同で企画実施していく中で必要な専門的知識やノウハウの研修などを行い、企画修了時には地域で活動できるような人材育成を目指します。 | |
| 若手音楽家の育成 | 若手音楽家の方々には、単に発表の場を提供するだけではなく、今後の活動のためにも、自身で企画プロデュース、集客などの実践を学んでいただける機会としたい | |

●市民主体の活動への支援協力サポート

初年度はできなかったデータベース「フィリアホールアーティスト・アーカイブス(仮)」を完成させるようにします。個人・団体にアプローチし、賛同を得られた団体・個人等を「登録アーティスト」として登録。

ホール利用申請から本番まで、施設利用責任者、舞台技術スタッフが、詳細な相談・アドバイスを行います。技術的な提案、舞台設営の方法や進行管理での相談も行います。

チケット委託されている公演の情報（内容、発売日等）を、WebサイトやSNS（Twitter等）で公開し、紙媒体の「イベントカレンダー」等も含めて、利用を強力にバックアップします。

地域の文化活動を行う人財育成・支援活動として、市民団体や地域の方々にとっての相談窓口と人材の育成拠点として具体的な事業項目の検討を行います。

平成31年度（2019年度）事業計画

## Ⅲ. 施設運営に関する活動

### 1. 施設運営の基本方針

多くの方々に成果を発表の場、日練習の場、そして人々が集える場としてご利用いただき、皆様に喜んでいただける施設であり続けることを目指します。運営の基本方針は、条例他の規程や利用要綱に則り、適正に運営することを前提に、公正公平な利用確保の為、申請・手続き、そしてご利用本番まで、一定のルールをお守りいただくようお願いしていきます。

### 2. 適正な施設運営管理

◎ 公平公正な施設利用の原則・ルールの徹底

条例及び横浜市市民利用施設予約システム（以下予約システム）に従い、公平公正な施設運営を継続します。ホームページの改編により内容が充実した「施設ご利用案内」を、適宜改修し、判りやすく利用しやすい施設を目指しくます。

「利用要綱」に基づき作成した「利用の手引き」や各種「利用案内」も、常に内容の改編加筆修正を繰り返し、ご利用者へ配布します。各種の貸出備品の取り扱いを含め、ご利用のルールを守って、皆様が気持ちよくご利用いただける施設運営を行います。

●適切な利用料金と利用区分の設定

施設利用料金・利用区分については、別表1のとおり、現行の利用料金・利用区分の体系を継続します。

●料金の納入方法

基本利用料は利用申請時に現金でお支払い、延長料金、附帯設備費等は当日に現金でお支払いいただきます。料金納入や返還等の基本事項については、利用要綱に明記し、利用者には適宜案内をいたします。

●減免・割引サービスの考え方

利用料の減免減免に際しては通常運営に大きな支障をきたさず、かつ特定の団体への優遇とならないよう判断します。

◎利用料金の割引サービス

ホール利用者のリハーサル用途でのホール利用の場合は、通常の30%割引でご利用頂く事が出来ます。
またホール空き区分を練習でご利用される方への利用日の27日前～7日前まで受付の場合は通常の30%割引きを行っております。

●利用状況の適正把握

施設利用人数を適正に把握するため、ご利用時の利用人数を終了時に報告してもらいます。ホールでの公演の場合も、主催者・出演者数に加え、出来るだけ受付にて入場者数を把握して報告をしてもらいます。

### 3. よりご利用いただくための運営努力

◎稼働促進策

●諸室の稼働（ご利用予約）状況の広報

HPの施設ご利用案内のコンテンツ内から「空き室状況」が確認できるようにしています。情報コーナー・練習室ロビーにも、空き室状況を週単位で掲示し、予約の促進を図ります。

●利用できるジャンル形態の柔軟な運用

「音楽練習」に限定せず、リハーサル室での発表会やコンサートのご利用案内も促進していきます。利用できるジャンル形態に柔軟に対応し、区民企画や地域連携事業での活用幅を広げるようにします。

●抽選後のホール空き日でのリハーサル・練習利用促進

3か月前の時点で空いている日を、リハーサルや練習での利用促進を図ります。公演予定の団体はもちろん、コンクール等への出場者向けにも広報告知を行い、割引サービスを利用しての「ホールでのリハ・練習」の機会ができることをアピールしていきます。

●ホール空き日を利用したピアニストの夢・カゲレンの実施

3か月前の時点で空いている日を利用します。1時間単位の廉価な料金でホールでピアノ練習する「ピアニストの夢」やピアノを使用しない練習の「カゲレン！」は、継続します。ホール練習利用への誘導策として活用していきます。

●レコーディングや撮影等の利用促進

「撮影・録音・学校法人」を対象に一次利用での制限を緩和し、施設利用の門戸を広げる取り組みを実施します。一次利用での練習等から、公演本番利用や恒常的な録音利用へ繋がるようにしていきます。

●夕夜間の利用促進に向けた活動

ホールの夜のコマ、リハーサル室・練習室の夕夜間の利用促進策を検討します。地域の人たちを対象とした非営利の団体の活動支援にもつながる諸策を考えていきます。

4. ご利用満足度向上のために

◎ ご意見ご要望・ニーズの把握と対応

意見要望ヒアリングとその後のPDCAサイクルを確立させ、今まで以上にご利用者の声を踏まえて、満足度向上に取り組み、皆様にご利用していただける運営を展開してまいります。

○ご意見ご要望の収集とPDCA

ご利用状況(人数等)の報告用紙の裏面に、自由記入欄を設け、ご意見ご要望を任意提出していただきます。収集したご意見ご要望は、定期的に内容を検討し、対応方針について検討の上、情報コーナー横のボードにに回答を掲示していきます。初年度は1回しか掲示できませんでしたが、、少なくとも半期ごとに収集したご意見ご要望をモニタリング報告としてあげていきます。

●附帯設備や備品の充実

更なる利用者サービスの充実を求め、備品・附帯設備の新たな購入等を検討してまいります。
ホールのご利用者のご希望に対応できるような備品の検討を行います。またリハーサル室・練習室利用者の声・要望をお聞きし、諸室の備品・附帯設備の改善・新たな購入等も検討してまいります。

5. 広報・プロモーション活動、情報提供

「既存利用者」と「新規利用者」の2 つの軸を持って、広報・プロモーション活動を実施します。HPやSNSの利用を化してまいりますが、SNS を普段利用しない層に対しても情報が行き渡るよう、紙媒体(新聞・チラシ・地域情報誌・ダイレクトメール・イベントカレンダー・会報誌)も充実させます。

◎ 広報・プロモーション活動の新たな試み

● イベントカレンダーの改良継続

公演情報に特化した情報媒体に変更したイベントカレンダーは、常にブラッシュアップに心がけます。

● 会報誌の作成

年4回発行し、メンバーズ会員はもちろん、青葉区内の各施設等へ配布いたします。公演への興味喚起、音楽への興味喚起、さらに施設利用や地域事業の情報を掲載し、青葉区民文化センターの認知度向上、来場促進につなげます。「広告料収入」も見込めるよう検討します。

● ホームページ(HP)の改良

初年度全面リニューアルを実施したHP の更なる充実を目指します。公演情報やチケット販売に繋がる部分の充実。施設利用へのわかりやすい説明、諸室の貸出予約状況公開など利用者の利便性向上・利用促進に繋げます。初年度出来きれなかった地域で活動する市民団体の紹介、優れた市民団体の広報活動をサポートの部分も改良をします。

● チケットWeb 予約システムの充実

チケット予約システムの利用方法を改良し、販売促進に繋がる利用者満足度向上に努めます。メンバーズWeb先行予約での、座席指定可能、セット券や学生券の24 時間Web 予約可能などの改善をしました。今年度はその改善部分の告知徹底をし、わかりにくいWeb予約の方法の周知徹底も図ります。

● SNS 等の活用と環境整備

メールマガジンやTwitter の活用の充実に加え、Facebook 等による利用拡大を図ります。情報コーナーや楽屋等でWi-Fi の利用が出来るよう環境整備を整え利便性の向上を図ります
今年度は、フィリアホールのSNS を活用して利用団体の広報支援として、公演情報やチケット販売情報の情報発信を実施できる方法を検討していきます。。
SNS の活用においては、人権侵害防止や個人情報保護等に細心の注意を払い適切な運用を行います。

6. 年間利用率目標

| | | |
|---|---|---|
| ホール | 69% | 自主事業の充実と共に、地域連携事業などでの有効活用を促進します。 |
| リハーサル室 | 86% | 現在も、平均稼働率は90%近くであり、ご利用者様から高い評価を頂けておりますが、今後も安定した諸室の利用率を高める為に、様々な取組みを行ってまいります。 |
| 練習室1 | 89% | |
| 練習室2 | 91% | |
| 練習室3 | 86% | |

# 平成31年度（2019年度）事業計画

## Ⅳ．平成30年度　施設管理への活動

施設及び設備の維持保全及び管理

「総合的なマネジメント力」を発揮し、清掃・衛生管理・保守点検などの業務を的確・スムーズに行い、利用者に安全・安心を提供すると共に、ホスピタリティあふれた快適な施設空間を提供します。

日常的なメンテナンス、保守点検、そして適宜必要な修繕が必須です。さらに25年を経過した施設の経年劣化に対処して、長寿命化計画を練っていく必要があります。

但し費用支出は十分適切な管理の下で行い、故障不具合発生をできるだけ未然に予測する「予防保全」の意識を持ち、最小限度の費用で効果が上がる方法を模索していきます。

### 1．日常点検と予防保全

予防保全を実現するために、日々の適切な点検（日常点検）と定期的な専門会社による点検（定期点検）を確実に実施し、点検内容を確認・検証することで修繕の必要性を判断します。

日常点検時に発見された不具合は、即時対応が必要か名度を判断した上で、補修・修繕を実施します。補修・修繕を実施した場合は貴区への報告を実施します。

◎舞台設備保守

年間定期保守計画(別表2参照)を作成し、各所機材の定期保守を実施します。定期保守での不具合や修繕箇所等には、適宜内容を判断し必要な対応を行います。

スタインウェイ2台は、使用時に調律は必須とします。ヤマハグランドピアノは利用者の調律任意を継続し、管理者側で定期保守以外に年間数回の調律を行います。

◎小破修繕への考え方

経年劣化部分の中期的修繕計画を立案します。2022年の天井工事実施に合わせて実施する基本計画も策定します。費用を有効的に使用して、「安全快適」な施設環境を維持していくようにします。工事修繕が比較的高額になっており、交換が必要な機材の場合は新規リースでの購入も視野に入れていきます。

◎光熱水費について

修繕に関連して、管理費の大きな部分を占める「光熱水費」については、LED化による電気使用量の削減を進めていますが、電気料金単価が年々上昇しており、費用面で圧迫しております。今後もLED化や水道設備での節水対応など使用量削減に向け、各種対応をしていきます。

### 2．清掃、美観管理業務の方針

上質なコンサートホールとしてのグレードを維持するためにも、施設の美観を維持し利用者に不快感を与えることのないように務めます。ホワイエのカーペット部分は日常的に染み抜き作業が出来るようにします。各所で経年劣化・汚れが目立ってきます。適宜必要な薬剤や清掃用具を適切に使用して適宜適切な清掃を行いま

### 3．備品管理

備品台帳により、備品及びリース品を管理します。

ホール附帯設備備品の使用は舞台スタッフにより貸出及び収納の管理を徹底します。リハーサル室他の備付備品はご利用者への貸出返還の管理を徹底します。

### 4．防火防災・防犯への取組み

● 非常時対応マニュアルの整備

当施設は、商業ビルの中に位置しており、館内には不特定多数の方の利用が前提となっております。共同防火管理体制下の一員として、緊急時には所定の指示に基づき、スタッフが行動します。青葉区民文化センターとしての「非常時対応マニュアル」を整備し、緊急時を対応を行います。防犯対策についても、ビル警備保安体制との連携を密にし、適宜適切な対応を心がけます。

### 5．運営組織の構造 ：少数精鋭による総合力を発揮する人材の配置　　別紙：組織図・名簿参照

●少数精鋭の「フィリアスタッフ」

親切丁寧な対応体制を最優先に組織を構築します。事務所スタッフは責任者を含む8名、舞台スタッフは3名で構成します。カウンター要因も含め、フラットな組織構造を目指し、共同事業体各社のスタッフ全員で、一体感を生み、少数精鋭の「フィリアスタッフ」として機能するようにします。

●スタッフを対象とした各種の研修・ミーティング

定期的な研修やミーティングにより課題の共有、能力のブラッシュアップアップを行います。代表企業の個人情報・コンプライアンスの研修も定期的に行っております。ミーティングは適宜実施し、意見交換、課題解決策の模索等を行っています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 個人情報保護教育eラーニング | 1回／年 | 事務所ミーティング | 毎月 |
| コンプライアンス研修eラーニング | 1回／年 | カウンターミーティング | 四半期 |
| コンプライアンスチェックシート | 毎月 | レセプショニストミーティング | 四半期 |

「別表1」【青葉区民文化センター・フィリアホール施設基本使用料一覧表】 【単位：円（税込み）】

ホール利用料金 （要綱第15条）

| | 用途 | 曜日 | 区分 | (9時～10時)※調律のみ | 10時～12時 | 13時～17時 | (17時～18時) | 18時～22時 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホール 500席 1階384席 2階116席 | 入場料徴収 録音・撮影（営利目的） | 平日 | 時間帯料金 | (6,800) | 18,500 | 37,500 | (10,000) | 41,500 |
| | | | 10時～17時 | | 56,000 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 79,000 | | |
| | | | 10時～22時 | | 97,500 | | | |
| | | 土日 休日 | 時間帯料金 | (8,000) | 21,500 | 46,500 | (11,500) | 46,500 |
| | | | 10時～17時 | | 68,000 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 93,000 | | |
| | | | 10時～22時 | | 114,500 | | | |
| | 入場料無料 録音・撮影（非営利・個人趣味利用等） | 平日 | 時間帯料金 | (4,000) | 10,500 | 22,500 | (6,000) | 24,500 |
| | | | 10時～17時 | | 33,000 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 47,000 | | |
| | | | 10時～22時 | | 57,500 | | | |
| | | 土日 休日 | 時間帯料金 | (4,800) | 13,500 | 28,000 | (6,500) | 27,500 |
| | | | 10時～17時 | | 41,500 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 55,500 | | |
| | | | 10時～22時 | | 69,000 | | | |
| 楽屋 | 楽屋1、2（18㎡） | | 10時～17時 | | 500 | 800 | (200) | 800 |
| | 楽屋3、4（26㎡） | | 13時～22時 | | 800 | 1,100 | (200) | 1,100 |
| | 楽屋5 （36㎡） | | 10時～22時 | | 1,000 | 1,600 | (400) | 1,600 |

別表2 リハーサル室・練習室利用料金 （要綱第15条）

| 名称 | 面積定員 | 曜日 | 10:15～12:15 | 12:45～14:45 | 15:00～17:00 | 17:30～19:30 | 19:45～21:45 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| リハーサル室 | （71.5㎡） | 平日 | 2,350 | 2,350 | 2,350 | 2,700 | 2,700 |
| | （80人） | 土日・休日 | 2,850 | 2,850 | 2,850 | 3,000 | 3,000 |
| 練習室1 | （24㎡） | 平日 | 600 | 600 | 600 | 650 | 650 |
| | （10人） | 土日・休日 | 700 | 700 | 700 | 750 | 750 |
| 練習室2 | （24㎡） | 平日 | 600 | 600 | 600 | 650 | 650 |
| | （10人） | 土日・休日 | 700 | 700 | 700 | 750 | 750 |
| 練習室3 | （27㎡） | 平日 | 650 | 650 | 650 | 750 | 750 |
| | （10人） | 土日・休日 | 800 | 800 | 800 | 850 | 850 |

別表3 ホールの練習・リハーサル使用料金 （要綱第15条・利用細則第5条）

| | 用途 | 曜日 | 区分 | (9時～10時)※調律のみ | 10時～12時 | 13時～17時 | (17時～18時) | 18時～22時 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ホール 500席 1階384席 2階116席 | 練習利用 割引適用の30%減免後 | 平日 | 時間帯料金 | | 7,350 | 15,750 | | 17,150 |
| | | | 10時～17時 | | 23,100 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 32,900 | | |
| | | | 10時～22時 | | 40,250 | | | |
| | | 土日 休日 | 時間帯料金 | | 9,450 | 19,600 | | 19,250 |
| | | | 10時～17時 | | 29,050 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 38,850 | | |
| | | | 10時～22時 | | 48,300 | | | |
| | リハーサル利用 割引適用の30%減免後 | 平日 | 時間帯料金 | | 7,300 | 15,700 | (4,200) | 17,100 |
| | | | 10時～17時 | | 23,000 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 32,800 | | |
| | | | 10時～22時 | | 40,200 | | | |
| | | 土日 休日 | 時間帯料金 | | 9,400 | 19,600 | (4,550) | 19,200 |
| | | | 10時～17時 | | 29,000 | | | |
| | | | 13時～22時 | | | 38,800 | | |
| | | | 10時～22時 | | 48,300 | | | |

別表2

維持管理年間計画(通年)

| | 業務 | 内容 | 頻度 | 実施詳細 |
|---|---|---|---|---|
| 機械設備 | 空調設備総点検 | | 1回/年 | 全室空調設備の総点検 |
| | 空調設備フィルター保守 | 定期点検 | 1回/年 | 事務所空調機フィルター清掃 |
| 建物等 | 舞台設備保守管理点検 | 定期点検 | 3回/年 | 舞台吊物等メンテナンス |
| | 照明設備保守管理点検 | 定期点検 | 2回/年 | 舞台照明設備メンテナンス |
| | 音響設備保守管理点検 | 定期点検 | 1回/年 | 音響装置メンテナンス |
| | ITV設備保守管理点検 | 定期点検 | 1回/年 | 映像設備メンテナンス |
| | ホール客席保守点検 | 定期点検 | 1回/年 | 指定業者により実施 |
| ピアノ保守等 | ピアノ保守管理(ホール)<br>(スタインウェイ2台) | 定期点検 | 各1回/年 | 納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した技術者による保守点検 |
| | ピアノ保守管理(ホール)<br>(ヤマハグランドピアノ1台) | 定期点検 | 1回/年 | |
| | ピアノ保守管理(リハーサル室)<br>(ヤマハグランドピアノ1台) | 定期点検 | 1回/年 | |
| | ピアノ保守管理(楽屋3)<br>(ヤマハアップライト1台) | 定期点検 | 1回/年 | |
| | ピアノ保守管理(練習室2・3)<br>(ヤマハアップライト2台) | 定期点検 | 1回/年 | |
| | ピアノ調律(ホール)※1<br>(スタインウェイ2台) | 調律 | 1回/年 | 納入ピアノメーカーの技術研修を受け、保守管理に精通した技術者による調律 |
| | ピアノ調律(ホール)※2<br>(ヤマハグランドピアノ1台) | 調律 | 4回/年 | |
| | ピアノ調律(リハーサル室)<br>(ヤマハグランドピアノ1台) | 調律 | 6回/年 | |
| | ピアノ調律(楽屋3)<br>(ヤマハアップライトピアノ1台) | 調律 | 6回/年 | |
| | ピアノ調律(練習室2,3)<br>(ヤマハアップライトピアノ2台) | 調律 | 7回/年 | |
| 清掃等 | 日常清掃業務 | — | 毎日 | 施設内清掃 |
| | 定期:床洗浄・ワックス塗布 | | 1回/3ヶ月 | |
| | 定期:カーペット洗浄 | | 1回/年 | |
| | 定期:窓ガラス(内面) | | 6回/年 | |
| | 特別:天井・照明器具 | | 1回/年 | |
| | 特別:給排気口 | | 1回/年 | 天井スピーカー含む |
| 環境管理 | ホール環境測定(空調・音頭) | | 4回/年 | 空調・温度環境測定 |
| | ホール環境測定(照度) | | 2回/年 | 照度測定 |
| | 害虫駆除 | | 2回/年 | バーカウンター等の害虫駆除 |
| 小破修繕 | | — | 適宜 | |

※1:ホールスタインウェイグランドピアノは、定期保守調律以外に、使用時に調律必須(施設利用者負担)・自主は管理者負担

※ホールヤマハグランドピアノは、8月に定期保守調律・それ以外の3回は使用状況により不定期(施設利用者負担なし・調律希望の場合は有料)

※ビル法定点検・測定及び防火対象物点検等はビル側にて実施。